

1兆2,381億円

うち復興・創生分

2,394億円

「ひと」「暮らし」「しごと」が調和しながら
シンカ(進化、深化、新化)する豊かな社会
を目指します！



福島県総合計画の基本目標

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる
ふくしまを共に創り、つなぐ

「地方創生」の推進

⑤輝く人づくり 104事業 260億円

●結婚・子育て応援事業

(こども未来局) ……【3.8億円】

結婚から子育てまでのライフステージに応じた事業を市町村や企業などと連携して行うとともに、市町村が独自に実施する少子化対策の支援などを行います。



●ふくしま脱メタボプロジェクト事業

(保健福祉部) ……【1.1億円】

メタボ・肥満該当者の割合の改善を図るため、市町村や事業所と連携を図りながら、ふくしま健民アプリを活用したキャンペーンやモデル事業などを実施します。



⑥豊かなまちづくり 45事業 113億円

●魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業

(生活環境部) ……【0.4億円】

鉄道と沿線地域の活性化の取り組みを促すため、JR水郡線全線開通90周年記念イベントとして利活用プレゼン大会などを開催するとともに、各種PR活動などを実施します。



●わたしから始めるごみ減量事業

(生活環境部) ……【0.4億円】

県内のごみの排出量を削減するため、モデル構築などの具体的実践とごみ減量アイデアの普及などによる意識啓発の促進を図ります。



⑦しごとづくり 54事業 990億円

●『感動！ ふくしま』プロジェクト

(商工労働部) ……【4.3億円】

県内企業の人材確保を図るため、企業の魅力や福島で働くすばらしさを伝える取り組みを総合的に展開し、若者の県内への定着・還流を促進します。



●農業でふくしまぐらし支援事業

(農林水産部) ……【0.9億円】

県外からの就農促進のため、就農時の初期費用の負担軽減や雇用就農者の労働環境の改善などを行うことにより、より安定した新規就農者の確保に取り組みます。



⑧魅力発信・交流促進 38事業 42億円

●ふくしま若者Uターン促進プロジェクト事業

(企画調整部) ……【0.4億円】

首都圏に在住する本県出身の若者を対象に、本県の魅力の発信や同世代とつながり、福島との関係性を深める機会を提供し、Uターンに向けた機運を醸成します。



●国際定期路線等開設・再開事業

(観光交流局) ……【8.9億円】

東日本大震災以降初となる国際定期路線の開設支援や、国際チャーター便の運航促進を図ります。



総合計画前進予算

総合計画の3年目となる令和6年度は、福島県が目指す将来の姿の実現に向け、これまで続けてきた挑戦をさらに「シンカ」させていくことが重要です。

総合計画を着実に前進させるため、特に重要な行政課題を8つの重点プロジェクトとして展開し、重点的に取り組みます。

シンカ
実現可能
未来



「復興・再生」の加速

①避難地域等復興加速化 40事業 712億円

●双葉地域における中核的病院整備事業 (病院局) ……【1.1億円】

双葉地域の医療提供体制の中核を担う新病院を整備するため、基本計画の策定や大野病院の解体設計などを実施します。



●福島県高付加価値産地展開支援事業 (農林水産部) ……【34.6億円】

原子力被災12市町村の営農再開の加速化に向け、広域的に生産、加工等が一体となった高付加価値生産などを展開する産地の創出に必要な取り組みを支援します。



②人・きずなづくり 39事業 52億円

●グローバル人材育成事業 (教育庁) ……【0.2億円】

本県の高校生が、グローバルな視点で地域課題解決探究活動を進め、海外でその活動を実践し、本県の発展に貢献するグローバル人材の育成に取り組めます。



●チャレンジふくしま戦略的情報発信事業 (総務部) ……【5.5億円】

根強く残る風評の払拭と時間の経過とともに加速する風化の防止を図るため、復興のあゆみを進める本県の姿や観光などの魅力を県内外に向けて戦略的に発信します。



③安全・安心な暮らし 114事業 735億円

●被災者生活再建支援体制推進事業 (危機管理部) ……【0.1億円】

被災者支援を早期に実現するため、住家被害認定調査の体制を強化するとともに、被災者へ支援を行うため、災害ケースマネジメントの実施体制の構築を支援します。



●そなえるふくしま防災事業 (危機管理部) ……【1.0億円】

県独自の防災VRなどを活用した防災出前講座を実施するとともに、防災アプリの機能拡充や利用促進を通して、県民の防災意識の高揚を図ります。



④産業推進・なりわい再生 69事業 686億円

●オールふくしまの酒づくり支援事業 (農林水産部) ……【0.5億円】

酒米産地や蔵元に機械・機器の整備などを支援するとともに、「オールふくしまの酒づくり」を加速するため、県オリジナル酒造好適米の品種開発に取り組めます。

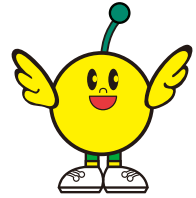


●チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業 (商工労働部) ……【4.8億円】

ロボットや要素技術の研究開発、ロボットフェスタの開催のほか、社会実装に向けた実証試験などへ支援を行い、ロボット関連産業の育成・集積を図ります。



ひとつ、ひとつ実現していくための3つの骨格



以下の3つの骨格をしっかりと形にしていくことで、複合災害からの復興と福島ならではの地方創生を前進させていきます。

複合災害からの復興・災害に強い県づくり

- 事業や営農の再開に加え、双葉地域における中核的病院整備の推進、県立ふたば支援学校の開校など、住民の帰還促進に向け、引き続き、生活再建や生業の再生を最優先に、避難地域の復興を加速
- 自然災害からの早期復旧はもとより、流域治水への理解醸成や、被災者の実情に応じた迅速な生活再建支援体制の整備のほか、自主防災組織への防災士の参画促進など、自助・共助・公助の一体的な取り組みにより、災害に強い県づくりを推進

人口減少対策

- 県内企業の人材確保や、看護の魅力発信、働きやすい保育の職場づくり、移住就農者の住環境等に対する支援のほか、首都圏在住者のUターン機運の醸成など、若者の県内定着に向けた『感動！ふくしま』プロジェクトを充実・強化
- 若手社員等の出会いの場の創出や、遠方での出産が必要な妊婦等の支援など、ライフステージに応じた切れ目のない支援を展開するほか、ウォーキングの促進や働き盛り世代の減塩の実践など、多様な取組により健康づくりを推進

複合災害からの復興 福島ならではの地方創生

横断的な取り組み（地球温暖化対策、デジタル変革）

- カーボンニュートラルの実現に向け、環境アプリを活用したライフスタイルの見直しを促すほか、温室効果ガスの削減などを通じて資金を循環させる「J-クレジット」の創出、サプライチェーンも含めた県内企業の脱炭素化を推進
- 防災アプリの活用を促進するとともに、デジタル化に取り組む商店街への支援や、GPSの位置情報の精度を高めることによるスマート農業のさらなる推進、「ふくしまの酒」の製造技術の見える化など、地域産業のデジタル変革を加速

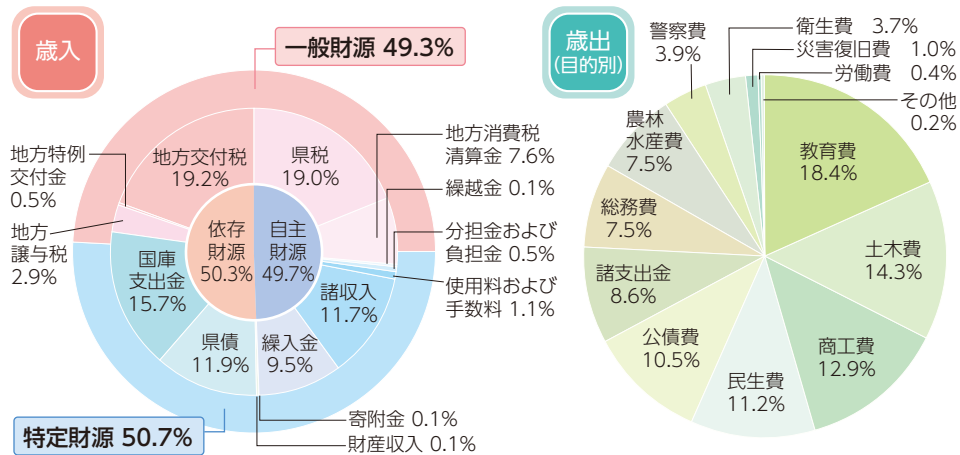
令和6年度 一般会計予算

※項目ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

県庁財政課
☎024(521)7029
ホームページでも詳しい資料を公表しています。

福島県財政課

検索



総合計画の3年目となる令和6年度は、計画に掲げた将来の姿を実現するため、現下の物価高騰に適切に対応しながら、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革の推進など、これまで続けてきた挑戦を絶えず「シンカ（進化、深化、新化）」させ、複合災害からの復興と人口減少の克服に向けた福島ならではの地方創生を更に加速させていく必要があります。

県民の皆さんの復興・創生への強い願いをしっかりと受け止めながら、総合計画の一つ一つの施策を着実に前進させ、全力で福島の未来を切り拓いていきます。

知事メッセージ — Message —

挑戦と前進

「シンカ」する福島

福島県知事 内堀 雅雄



読者からのお便り

2月号も楽しく読みました。恥ずかしながら「GAP」という言葉、初めて知りました。私たち消費者にとっても食品安全が一番大切なことなので、GAPの取り組みはとっても大切なことだなと思いました。(50代 福島市)

2024年
4月号

